病院名	岩手県立宮古病院
研修科目名	循環器科

◇　概要

　循環器疾患患者や循環器慢性疾患を有する他科疾患患者の診療に携わる。
循環器疾患の診断、治療を行う上で必要な知識や技術の鍛錬、修得を目指す。
循環器救急を経験するとともに、急性期診療から慢性管理、重症から軽症まで、幅広く学ぶ。

◇　研修目標

一般目標(GIO)

1. 循環器救急初期診療に関する臨床能力を身に付ける。
2. 循環器疾患の問診法を学ぶ。
3. 心血管系の聴診、打診法などの基本的診察手技を習得する。
4. 心電図や心臓超音波などの基本的検査手技を習得し、所見の理解ができる。
5. 循環器疾患に対する基本的な薬剤の使い方を習得する。
6. 循環器疾患の基本的治療法を学ぶ。
7. 患者・家族とのより良い人間関係を確立すべく努め、良好なコミュニケーションをとることが出来る。
8. 患者の持つ問題点について医療面のみならず心理的・家族的・社会的側面を含めて全人的に適切に捉え、それらを配慮した対応、説明･指導できる。
9. 指導医、他科または他施設に委ねるべき問題がある場合に適切に判断し遅滞なく必要な記録を添えてコンサルテーションすることができる。
10. 適切な診療記録および会話文章を遅滞なく作成できる。
11. 他の医療スタッフと協調・協力し円滑にチーム医療を実施できる。
12. 慢性疾患、高齢患者の管理要点を理解し在宅医療･社会復帰の計画立案ができる。
13. 重症心不全等の終末期医療において末期患者を全人的に捉え、治療・管理する能力を身に付ける。

◇　行動目標(SBO)

1. 毎日1日2回以上は患者さんの話を聞き診察をする。診療スケジュールを理解し積極的に参加する。
2. 循環器救急患者診療の際には積極的に参加し、チームの一員として診療に協力する。
3. 患者情報を的確に把握し、要点を押さえた的確なプレゼンテーションをして上級医と討論が出来る。
4. 診療録は丁寧にSOAP方式で正確に記載する。
5. 診療に関する疑問や問題点については、必ず指導医に相談し積極的に解決法を検討する。
6. 胸部診察を中心とした全身的な診察が正確に系統的に行える。：心臓・肺の聴診、バイタルサイン、脈管系の診察、OSCEに準じた診察
7. 以下の検査の適応を判断し，自ら実施し所見の解釈ができる。
：12誘導心電図、運動負荷心電図、上下肢血圧、心エコー、血液ガス測定、血液緊急検査
8. 以下の検査の適応を判断し，所見の解釈ができる。
：胸部単純X線、経胸壁心エコー図、頸動脈血管エコー、心臓CT、運動負荷心電図、ホルター心電図、心臓核医学検査、冠動脈造影、Swan-Ganzカテーテル
9. 冠危険因子を評価し，生活習慣病改善のためのプランを立てられる。
10. 以下の循環器疾患の診断ができ，基本的治療プランが立てられる。
：急性心筋梗塞、不安定狭心症、労作性狭心症、異型狭心症、本態性高血圧、二次性高血圧、僧帽弁膜症、大動脈弁膜症、拡張型心筋症、肥大型心筋症、
：心房細動、心房粗動、房室ブロック、洞不全症候群、発作性上室性頻拍、心室頻拍、心室細動、心室性期外収縮、急性心不全、感染性心内膜炎、大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症
11. 電気的除細動器を適切に使用できる。
12. 循環器疾患に合併した内科疾患に関して積極的に考察し専門科へのコンサルトを通じて治療を行う。
：糖尿病、痛風、高脂血症、腎不全、脳梗塞、肺炎、慢性閉塞性肺疾患、甲状腺疾患など
13. 大腿静脈および内頸静脈から中心静脈ラインを正確・安全に確保できる。
14. 以下の循環器領域救急疾患を鑑別し，指導医に相談できる。
：急性冠症候群、不安定狭心症、高血圧緊急症、大動脈解離、急性左心不全、緊急対応を要する徐脈性及び頻脈性不整脈、心タンポナーデ

◇　研修項目

Ⅰ．基本的事項

1)症候学

2)ベッドサイドにおける基本的診察

　問診、身体所見(チアノーゼ、浮腫など)、聴診(心音、呼吸音)、触診、打診

3)一般検査

血圧測定、酸素飽和度測定、血液ガス測定、血液一般・生化学検査、尿検査

4)心電図検査

12 誘導心電図、運動負荷心電図、ホルター心電図の判読

5) 心血管系放射線学的検査

胸部X線、冠動脈CT、心臓核医学検査、心臓カテーテル検査の読影

6)心臓超音波検査

心エコー(経胸壁)所見の解釈

7)一般的手技

　血管確保、気道確保、酸素・薬物投与、尿道カテーテル留置、中心静脈カテーテル留置、胸腔穿刺

8)循環器系検査手技

　経胸壁心エコー、下肢エコー、心臓カテーテル検査(冠動脈造影、スワン・ガンツカテーテル)

10)循環器系治療手技

冠動脈インターベンション、一時的ペーシング、永久ペースメーカー植込み、電気的除細動、心臓リハビリテーション

＊各種手技は必ず指導医と共にもしくは指導医の立会いの下で実施する(助手や見学のみのものもあり)

Ⅱ．対象疾患

1.虚血性心疾患：急性冠症候群(急性心筋梗塞、不安定狭心症)、狭心症、無症候性心筋虚血

2. 心不全：急性心不全、慢性心不全、左心不全、右心不全
3. 不整脈：頻脈性不整脈、徐脈性不整脈
4. 心筋疾患：心筋症(拡張型心筋症、肥大型心筋症、二次性心筋症、たこつぼ型心筋症など)、心筋炎
5. 心臓弁膜症：大動脈弁狭窄症、大動脈弁閉鎖不全症、僧帽弁狭窄症、僧帽弁閉鎖不全症、三尖弁閉鎖不全症
6. 先天性心疾患：心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、成人先天性心疾患
7. 高血圧症：本態性、二次性
8. 動脈疾患：大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症、急性動脈閉塞
9. その他：肺血栓塞栓症、感染性心内膜炎

◇ 臨床研修到達度評価

手技・基本的な知識
診察法
心電図の判読
X線、CT、MRI、シンチグラフィの判断と読影
心エコーの実施
心臓カテーテル検査・治療の介助
入院患者への対応
各症候に対する診断・対処法：胸痛、呼吸困難感、動悸、失神、めまい、ショック
各疾患の診断・治療：上記Ⅱに記載された疾患のいずれか(できるだけ複数の疾患)を経験する

◇ 週間予定表

	月	火	水	木	金
午前	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ
	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療
		負荷心筋シンチ		負荷心筋シンチ	救急外来診療
	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
午後		心臓カテーテル検査	心臓カテーテル検査	心臓カテーテル検査	救急外来診療
		心臓カテーテル治療	心臓カテーテル治療	心臓カテーテル治療	病棟カンファレンス
				ペースメーカー手術	病棟回診
	トレッドミル検査			ペースメーカー外来	
				医大webカンファ	